

技術士(電気電子部門) キャリア形成スキーム(例) (案)

資料4-2

この技術士キャリア形成スキームは、電気電子部門の技術士の生涯を通じたキャリアパスの観点から、電気電子部門の技術士の段階(ステージ)に応じた資質能力等と技術士資格の位置付けについて例示的に作成したものである。

項目	ステージ1	ステージ2	ステージ3
①技術士像	<p>【電気電子部門全体】 電気電子技術を活用した計画・研究・設計・分析・試験・評価等に関して、技術士の指導の下、技術者倫理と獲得した専門知識および業務の課題を抽出し解決策を提案できる能力を有し、分担する業務を的確に遂行する技術者</p> <p>【製造業(ものづくり)】 電気電子技術を活用した"ものづくり"の開発・製造・試験・販売・サービス等の過程において、技術士の指導の下、安全管理・品質管理・生産管理等を監視し、技術者倫理と獲得した専門知識および製品仕様・性能等の課題を抽出し解決策を提案できる能力を有し、各過程の分担業務を的確に遂行する技術者</p>	<p>【電気電子部門全体】 電気電子技術における高等の専門的応用能力を実践する計画・研究・設計・分析・評価等に関して、高い技術者倫理と専門職としての高度な知識・能力および複数の技術に関わる複雑な課題を解決できる能力を有し、業務を責任を持って遂行し、社会に貢献する技術者。さらに継続研さん(CPD)を実施・評価し、技術士補を技術士に育成する計画的な指導を行う技術者</p> <p>【製造業(ものづくり)】 電気電子技術を応用した"ものづくり"の計画・開発・製造・販売・サービス等の過程において、安全管理・社会環境との調和・経済性・情報管理・資源管理・リスクマネジメント・国際的視点等を監視し、高い技術者倫理と専門職としての高度な知識・能力および複数の技術に関わる複雑な課題を解決できる能力を有し、各過程のデザインレビュー、技術資料照査等を行いプロジェクトの責任を負う技術者。さらに継続研さんを実施・評価し、技術士補を技術士に育成する計画的な指導を行う技術者。</p>	<p>【電気電子部門全体】 電気電子技術における高等の専門的応用能力を実践する計画・研究・設計・分析・評価等に関して技術士を指導・監督し、高い技術者倫理と専門職としての高度な専門・能力および技術横断的な複合的課題を解決できる能力を有し、説明責任を果たし社会に多面的に貢献する技術者</p> <p>【製造業(ものづくり)】 電気電子技術を応用した"ものづくり"の計画・開発・製造・販売・サービス等の全過程において、安全管理・社会環境との調和・経済性(品質・コスト・生産性)・情報管理・資源管理(人的・材料・設備・資金)・リスクマネジメント・国際的視点等を監視し、技術士を指導・監督し、高い技術者倫理と専門職としての高度な知識・能力および技術横断的な複合的課題を解決できる能力を有し、デザインレビュー、技術資料照査・承認等の役割を担い、"ものづくり"の最終責任を負う技術者。</p>
②年齢の目安	~20代	30代	40代~
③職位等の具体例	○民間技術者 執務員、企画員、研究員	○民間技術者 主任、課長、技師、主任技師、 プロジェクトマネージャー	○民間技術者 部長、主幹技師、副技師長、技師長
④職位等における業務の性格	上位職の指導を受けて業務を推進する。	自らの判断で業務を推進する。 部下を指導する。	最終的な責任を負う。 各級管理者を指導する。
⑤資格	技術士補(電気電子部門)	技術士(電気電子部門)	総合技術士【仮称】
⑥資格に求められる知識・能力	電気電子部門の技術士補として必要な科学技術全般にわたる基礎的学識や専門知識、技術者倫理	電気電子部門の技術士として必要な電気電子部門についての専門的学識及び高等の専門的応用能力、技術者倫理	電気電子を専門技術としつつ、総合技術監理部門の技術士として、幅広い見識と豊富な実務経験を踏まえて、専門技術以外の技術を含めた複合的な問題を解決するために必要な応用能力に加え、これらに関する安全性や経済性の向上等を図るために監督、管理する能力、技術者倫理
⑦受験資格	年齢・学歴・業務経歴等による制限なし	技術士補となる資格を有し、一定の実務経験年数を有する者	電気電子技術士となる資格を有し、以下のいずれにも該当する者 (1)一定の実務経験年数を有すること (2)総合技術士になるために受講することが必要と認められたCPDを一定時間受講すること
⑧受験に必要な実務経験年数	なし	7年以上	7年以上
⑨資格活用状況	(今後記入)	(今後記入)	(今後記入)
⑩他の資格との関係	(今後記入)	(今後記入)	(今後記入)